

NICT QUANTUM CAMP

目指せ！ 量子ネイティブ！！

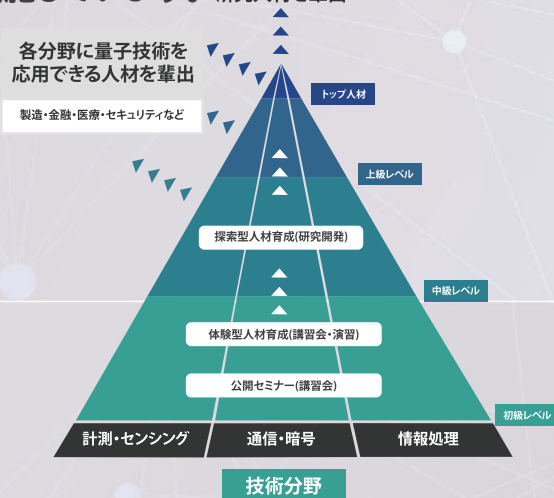
国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT、理事長: 徳田 英幸)は、量子コンピュータや量子暗号通信などの量子ICTを使いこなす高い知識・技術を持つ「量子ネイティブ(Quantum Native)」の育成を目的としたプログラム NICT Quantum Camp(NQC)を2020年度より実施しています。研究人材を輩出

量子についての学びや、研究開発の支援を提供する場として、高校生から社会人まで、初学者から研究や実務に携わる方まで、幅広い参加者が参加しています。

仲間との交流も重視しており、修了後にも残るネットワーキングにつなげています。

今年度も(1)体験型人材育成プログラムと(2)探索型人材育成プログラムの2つの育成プログラムを実施します。

NQCでは、若手を中心とした人材育成や量子ICTに関する情報共有、交流の場の提供を通じ、量子ICT分野の活性化を目指しています。量子ICTに関心のある方の参加をお待ちしています。



体験型人材育成プログラムコース

- ▶ 最先端の量子ICT分野で活躍されている一流の講師陣から直接学ぶことができ、議論できます！
- ▶ 学生・社会人の垣根を越えて、興味・関心を同じくする仲間たちと対面・オンラインで集い、繋がりを持つことができます！！
- ▶ 参加者や修了生たちと集まり、議論や自主勉強会等を通して自由な交流ができます！

探索型人材育成プログラムコース

- ▶ ご自身の研究を推進するための研究支援金を受けることができます！
- ▶ NQCに関わる一流の講師陣による指導や受講生、修了生等と議論・相談ができます！
- ▶ 探索型人材育成プログラムの参加者は体験型人材育成プログラムにも参加できます！



▶ 詳細・応募申込方法

NICT Quantum Camp (NQC)のWebサイトをご参照ください



体験型人材育成プログラムコース

体験型人材育成プログラムでは、50名程度の受講生を募集し、対面・オンライン環境にて講義・演習を実施します。大学や産業界から、量子ICTの第一線で活躍されている方々を講師にお招きして講義・演習を提供します。受講生は、これらの第一線の専門家から、量子ICTの基礎、各分野の成果やこれからの方向性、課題について学びます。また、量子プログラミング演習や学んだことの振り返り資料作成など、アウトプットの経験も積むことができます。専門家、受講生、修了生たちとの交流や、有志で任意に自主勉強会を開催するなど、量子の世界に飛び込む環境を提供します。講義・演習は、8月から3月まで、毎月1～2回程度のペースで土日に実施します。前提知識はさまざまで構いません。

応募期間

6月9日(月) - 7月7日(月)17時(期限厳守)

定員

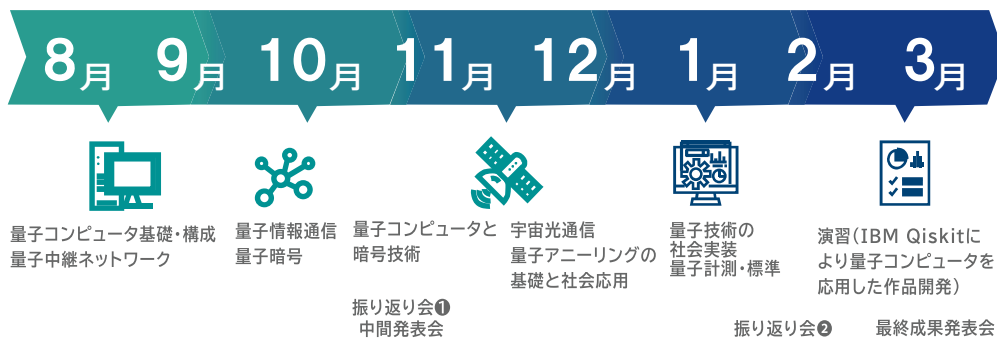
50名程度

費用

無料

応募条件

- ・日本国内に居住する方
- ・国内の銀行口座お持ちの方
- ・外国人の方は、国内の大学や企業に在籍している方
- ・量子ICTへの強い関心を有する方
特に若手(高専生、大学生、修士・博士課程在学者)や量子技術の教育に関わる方など
- ・PC操作や簡単なプログラミングなど基本的なICTスキルを有する方
- ・本プログラムの趣旨や目的、求める人材像を理解していること



探索型人材育成プログラムコース

探索型人材育成プログラムでは、量子技術や関連周辺技術に関する個人単独又はグループによる調査・研究・開発・応用課題(5件程度)を募集します。採択者には研究支援金が支給され、自由に自律的に提案課題に取り組んでいただきます。NQCの講師陣、受講生、修了生の方々との議論、助言・指導を受ける機会を通じて、直面している問題の解決や研究開発能力、プレゼンテーション能力の向上に繋げていただければ幸いです。

中間発表会と最終成果発表会で活動内容や成果を紹介していただきます。こうした機会を利用して、研究・開発を進めるだけでなく、伝える練習や実績にもつなげてください。調査・研究・開発・応用の様々な方向性でのテーマをお待ちします。

研究開発期間 2025年8月 - 2026年3月
(2025年10月に中間発表
2026年3月に最終発表を実施予定)

応募条件

- ・日本国内に居住する方
- ・国内の銀行口座お持ちの方
- ・外国人の方は、国内の大学や企業に在籍している方
- ・量子ICTへの基礎知識・技能や強い関心を有する方
特に若手(修士・博士課程在学者、若手研究者)や量子技術の教育に関わる方など
- ・本プログラムの趣旨や目的、求める人材像を理解していること

応募期間

6月9日(月) - 7月7日(月)17時(期限厳守)

定員

5件(個人、グループでの応募も可)

費用

応募費用はかかりません

研究支援金

1件(個人または団体)につき、最大100万円まで

様々なテーマをお待ちしております

- ▶ 既存研究や技術の調査
- ▶ 学術的な研究
- ▶ 実装技術やプログラムの開発
- ▶ 量子技術の応用や量子分野の教育など

※研究開発以外にも、既存のものに対する調査テーマも可能です。

